

第87回日本医史学会総会演題目次

特別講演

吳秀三先生にまなぶもの―精神病患者慈善救済会のこと、ほか―

岡田 靖雄……………(1)

富士川游と広島……………

富士川 英 郎……………(10)

会長講演

イタリヤ・パピア大学の解剖医たち(スカルバ、コルチ、ゴルジ)……………

原 田 康 夫……………(14)

一般口演

1、ケインシャトルワースの『マンチエスターの木綿工業で働く労働階級の

遠藤 幸 孝……………(17)

道徳的・身体的状態』(一八三二)について……………

荒 木 ひろし……………(19)

2、伊藤鳳山の医説をめぐって……………

玉 手 英 典……………(22)

3、五十嵐汶水編の民間産科指導書『安産仙翁邦言教諭』について総括……………

田 中 助 一……………(23)

4、富士川游博士の思い出……………

佐 久 間 温 巳……………(25)

5、本邦ハンセン病史における後藤昌文・昌直先生父子の業績……………

宗 田 一……………(28)

6、中井厚沢と土生玄碩……………

長門谷 洋 治……………(31)

7、池田謙斎伝 補遺……………

安 井 広……………(32)

8、E・ベルツの病理学総論講義について……………

酒 井 シ ヅ……………(35)

9、Remelinの解剖書とその訳書について……………

石田純郎・H・ポイケルス……………(36)

10、ボードイン書簡について(第一報)……………

泉 彪之助……………(38)

11、医師トーマスB・ダンの経歴……………

中 村 昭……………(40)

12、『多聞院日記』に現われる風病の検討……………

小 俣 和 一 郎……………(42)

13、ロールシャッハ・テストの起源とスイス精神医学史……………

小 俣 和 一 郎……………(42)

14、ジダール（勿多兒・Jean Paul Isidore Vidal 1830～1896）の生涯と業績

浦原 宏・清水陽人……………(44)

15、『医心方』の伝写（Ⅵ）卷廿二について……………

杉 立 義 一……………(46)

16、『医心方』にみられる月経異常の治療……………

松 永 勝……………(48)

17、『医心方』における口腔疾患の分類と文献引用について……………

戸 出 一 郎……………(49)

18、『小品方』の処方について……………

広 田 曄 子……………(51)

19、書籍目録に見られる十七世紀後半の流通医書……………

平 馬 直 樹……………(53)

20、口蓋裂を人工蓋で閉塞する方法の史的研究……………

本 間 邦 則……………(56)

21、一〇〇年目の女医の卵たち……………

大 村 敏 郎……………(57)

22、金沢医学館の図面について……………

寺 畑 喜 朔……………(60)

23、伊勢原市域医療史の若干の問題点——『神奈川県伊勢原市の医療史』（仮題）の

調査と執筆をおえて——

奥 富 敬 之……………(62)

24、第一次大戦時の英米「シヨック委員会」とその周辺……………

栗 本 宗 治……………(64)

25、第二次世界大戦末期のルソン島における日本陸軍の衛生状況と米軍の人道的行為……………

守 屋 正……………(64)

26、陸軍戸山学校について……………

清 水 勝 嘉……………(65)

27、日本衛生学会の沿革（一）……………

西 川 溟 八……………(68)

28、内務省衛生局雑誌の内容……………

谷 津 三 雄……………(69)

29、明治時代初期に於ける公立医学校の廃止……………

丸 山 知 良……………(71)

30、明治初年の医師制度……………

深 瀬 泰 且……………(73)

31、生野鉱山の塵肺の歴史——一八〇〇年代から一九八〇年代まで……………

三 浦 豊 彦……………(75)

32、中国医学と道教（Ⅵ 医神）……………

吉 元 昭 治……………(78)

33、宋代氣功の成就……………

郎 需 才……………(80)

34、中国医事制度史における按摩について——隋・唐時代を中心として……………

山 本 徳 子……………(84)

35、扁鵲の画像について……………

石 田 秀 実……………(85)

36、	扁鵲 其の二	家本誠一	(87)
37、	尊経閣文庫所蔵の『黄帝内経明堂』最善古鈔本——判明した巻首の欠字——	小曾戸洋	(90)
38、	ジョン・スノーとその麻醉科学の業績——とくにその著書 “On the inhalation of the vapour of ether in surgical operations”について	松木明知	(92)
39、	『図経本草』所引の「張仲景医書」について	真柳誠	(94)
40、	日本における病院給食の始まり (明治六年・大阪)	中室嘉祐	(97)
41、	梅園医学論の立場	丸山敏秋	(99)
42、	深根輔仁『掌中要方』について——尊経閣文庫所蔵の古文書中に残る逸文——	石原武・小曾戸洋	(102)
43、	呉家の本家筋、豊田家の医師たち	豊田裕治・豊田秀三・石田純郎	(104)
44、	『呉氏本草』について	三井駿一	(106)
45、	日本医史学会と芸備医学会創立に貢献した医人達	江川義雄	(108)